

特集

# 学びを深める

ギガ

## 「GIGAスクール構想」

### わが町のGIGAスクール構想

長島町では、令和2年度からGIGAスクール構想実現に取り組み、端末整備とネットワーク整備に約1億4千万円の予算を投じました。

令和3年度は、ICTを活用した授業を支援するため、各学校に支援員を配置し、毎月1回ICT活用のための研修を行っています。

令和3年3月末で、町内の全小中学校の児童・生徒へ一人一台の端末が整備され、高速通信ネットワークのサポートを行っています。

### 具体的な取り組み

町教委は、ICT活用をより効果的に行うため、町教委独自の研修会や各学校での研修の充実を図っています。

令和3年度は平尾小中学校をICT活用推進校として指定。推進校で行われる公開授業に町内の全学校からの教師が参加し、授業参観や意見交換会を行い、研さんし



モニターを使用して発表

ています。

さらに、ふるさと長島わくわく教育推進事業として、プロジェクト委員会を設置し、課題解決に向けて動いています。

10月1日、平尾小学校で公開授業が行われました。授業は4年生の算数が行われ、この日はさまざまな形の面積の求め方について学びました。

前半は、従来通り黒板に板書された授業の目標やおさらいを児童たちがノートに書き写します。教師の合図でタブレットPCを取り出し、画面上に映し出された図形に線を引いたり、動かしたりしながら、さまざまな方法で面積を求めていました。

児童たちが考えた面積の求め方は、大型モニターに映し出され、児童全員による発表が行われました。

公開授業は、町内の小中学校の教師や町教委の指導主事など26人が視察。授業後、情報交換会が行われ今後のICT活用について話し合いました。



一人一台のPCを使用して授業は進む



PCを使いこなす児童ら

### まだまだこれからが課題

「これまでもICT活用は行ってきたが、今では一人一台の整備というのが大きな役割を持つ」と話すのは大浦慶子教育長。教育の質を効果的に高めるよう、利用していくことが重要だと述べました。

一方で、課題はまだ山積みです。ノートの書き取りなど、紙媒体ならではの良さがあ

### 未来の教育 それぞれに合った教育

ICT活用授業は、誰一人取り残すことなく、それぞれが最適な学びができることが重要だと先述しました。

タブレットPCを使って面積の求め方を考えるのは創造力や自力解決力を、モニターでの発表は論理力や理解力を身に付けてほしいという目的で活用していました。

そして、なによりも楽しみながら子どもたちが得意なことを伸ばし、苦手なことを克服できることが大事だとありました。

平尾小学校4年の山下明里さんは「タブレットPCを使うようになって、今までよりもっと楽しく勉強できるようになった。他の授業でもどんどん使いたい」と笑顔で話しました。

語りました。